

小学生たちが ニコリを広める

はじめに

昨年の 4月のこと、ニコリ宛に1通の問い合わせメールが来た。メールの主は、横浜国立大学教育学部附属横浜小学校（以下「横浜小学校」）の6年3組担任の、白川治先生。内容は、学校の総合学習の時間にぜひ出前授業をしてください、というもの。これまでも学校に訪問してパズルの授業をしたことは何度かあったものの、今回はどのような展開になるのだろうか、想像をふくらませつつ、知的好奇心を刺激するような、とっておきのパズルを選びすぐり準備を進めた。当日は、私[㊟]と編集部数人で横浜小学校を訪れることにした。

ナンバーリンクやシークワーズなど、ニコリのパズルを数種類教えて、生徒たちに解いてもらうというパズル授業をしばらくしたところで、今度は生徒たちがスライドに資料を投影し、プレゼンテーションを始めた。

「えっ、何をやるの!?!」と思ったら、クラスがいくつかのチームに分かれて、さまざまな形でニコリの広報活動やパズルの共同開発・体験会をしたい、と訴え始めたのだ。生徒たちがかなりの時間をかけて作ったというパワーポイントの資料の出来も素晴らしく、同行した[㊟]は、目頭が熱くなったと言うほど。元々はクラスにニコリのファンが1人いたということだが、クラス全体を巻き込み、さらに「もっとニコリを広めたい!」という思いでクラスがまとまるなんてすごいではないか! ということで私も[㊟]や[㊟]と相談し、思い切ってニコリの誌面で、小学生たちが考えるパズルやニコリの面白さを存分に描いてもらうことにした。

という ことで、次ページからダウンロード、横浜小学校プレゼンツ・ニコリ&パズル特集がスタート。クラスがいくつかのチームに分かれ、それぞれのチームが考えたテーマでページを作る、というスタイル。いつものニコリの視点や雰囲気とは違うので、なじみにくいところがあるかもしれないけど、みんなで協力しあって作り上げたものはなかなか面白い。特に創作パズルは、共同制作で良いものができることを示せたのではないかなと思う。



← 浜書房のフェアの様子

ところで、横浜小学校の活動はニコリの誌面作りだけではなく、本屋さんでの広報活動にも及んでいる。生徒たちの思いに共鳴していただいた、浜書房港南台パズル店さんがニコリフェアを展開。売る本のセレクトやPOP作りを生徒たちが行い、素敵なニコリ本売り場が完成。フェアは3月末までやっているの、近所の方はぜひ見に行き、ニコリ本を買っていただけるとありがたいです。浜書房は、JR 根岸線の港南台駅から徒歩3分です。

さらに まだ計画中でくわしいことは言えないけど、生徒たちが卒業してから実現しそうな企画も進行中。実現したら本誌でも紹介予定だが、これはニコリとしても初めてやるような試みで、楽しみ。

1年前までは、クラスの大半の生徒はニコリを知らず、パズルが得意ではない人も多かったはずなのに、力を合わせるとこれだけのことができるのか、今の小学生はすごいな、と感心するばかり。できれば、全国の小学生たちに伝えて、楽しんでいただきたいと思う。それにしてもまさか、自分たちの本で、自分たちが取材される日が来るなんて思わなかったなあ。

㊟